



学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学ぶ、たくましい子どもの育成

藤崎小だより



令和3年4月23日
第1号

藤崎小学校8年目のスタート!

満開の桜の中、22名のかわいい1年生を迎え、全校児童113名、教職員20名で、藤崎小学校の8年目がスタートしました。

今年度も、子どもたち一人一人が自分らしさを発揮して笑顔いっぱいの学校生活を送ることができるよう、職員一同精一杯努力してまいります。

さて、始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

新年度のスタートにあたって、みなさんに大切にしてほしい2つのことをお話します。

まず一つ目は、「友だちと学び合う時間を大切にしてほしい」ということです。

学校には、いろいろな考えを持った友だちがいます。自分とは違う考えに触れることで、みなさんの世界はぐんと広がります。自分が考えていることや思っていることを、友だちにどうぞ積極的に伝えてみてください。そして、友だちの考えにも一生懸命耳を傾けてみてください。中には、自分で考えようとしてもなかなか考えが浮かばない人もいるかもしれません。そんなときは、友達にどんなふう考えたのか勇気を出してきてみましょう。人にきけるということは、それだけでとても素晴らしいことです。

二つ目は、「自分とは違う、さまざま人を大切にしてほしい」ということです。

今年度から藤崎小学校は、男女を分けずに出席番号を決めました。男子と女子では違うところがたくさんありますが、この違いを認め合いながら、同じ一人の人として互いを大切にする気持ちを持ってほしいと考えたからです。

このほかにも、人には、さまざまな違いがあります。体に不自由なところを抱えている人もいます。また、とても怒りっぽかったり、傷つきやすかったり、乱暴だったりして、何だかちょっと付き合いにくいなあと感じる友だちもいるかもしれません。でも、その一人一人がみんなかけがえのない存在なのです。人はみんな違ってあたりまえ。その違いを受け入れて、お互いが安心して暮らせるよう知恵をしばっていきましょう。どうか優しさや思いやりを大切に過ごしてください。

「協働する力」や「多様性を受け入れる態度」は、未来の社会を創る子どもたちに必要な大切な力です。そして、これらを育むために重要な役割を担っているのが、人とのかかわりの中で学ぶことができる学校です。保護者、地域のみなさまと、このことをしっかりと共通理解し、ともに今年度の教育活動を創造してまいりたいと考えます。

お力添え、どうぞよろしくお願いたします。



校長 富樫 由紀子